

名称：急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

指標番号：

QIP：2001

年度：2010, 2012, 2014, 2016

更新日：2021-04-27

指標群：循環器系疾患 薬剤

名称：急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

意義：治療内容をみるプロセス指標

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数

分子：分母のうち、アスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3：

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：

アスピリンが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
1143001	アスピリン	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○		
3399007	アスピリン	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○

薬剤一覧の出力：true

リスク調整因子の条件：

指標の算出方法(説明)：分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

座薬(サリチゾン座薬: 薬価基準コード 1143700J5029)は、ガイドライン(JCS STEMI 2013)では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

参考値:

1:

アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1:

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who received aspirin within 24 hours before or after hospital arrival. 2010 Apr. NQMC:006060

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2021-04-27